

## 馬堀小学校保護者説明会 会議録

1 日 時 令和6年(2024年)5月17日(火) 15:30~16:15

2 場 所 馬堀小学校 体育館

3 参加者 6名

4 事務局等	教育政策課	課長	飯田 達也
	教育政策課	主査	大堀 圭輔
	教育政策課	主任	志村 洸哉
	教育政策課	担当者	松本 勇人

5 議事内容

### ○飯田教育政策課長(事務局)

本日は、説明のお時間をいただきありがとうございます。

私は教育委員会教育総務部教育政策課長の飯田です。

また、隣にいますのは、主査の大堀、担当の志村・松本です。よろしくお願いします。

走水・馬堀地域の教育環境の整備については、令和4年度より検討を進め、本年1月には、令和7年4月1日に走水小学校と馬堀小学校を統合することを決定しました。

令和4年度からの検討から今に至って、子どもたちや保護者の皆さまには不安な思いをさせており、誠に申し訳ございません。今後も、本日の説明会のような形を開催させていただき、統合に向けた情報を共有したいと考えていますので、よろしくお願いします。

それでは、説明会を進めたいと思いますが、本日は、走水小学校と馬堀小学校の第1回目となる合同の学校運営協議会を4月11日に開催させていただき、統合に向けた取り組みについて、情報共有しましたので、その時の内容を中心にご説明したいと考えています。

なお、会議録を作成する関係で議事については、録音をします。

### ○大堀教育政策課主査(事務局)

それでは初めにお配りした資料のご説明をします。

こちらの資料1は、統合までに検討する案件を、教育委員会、学校、保護者など、こういった立場の方が、いつ頃までに検討や決定を行っていくのかななどを記載しています。

資料1には1ページの①から2ページの⑥まで、合計8個の項目について記載しています。

「①地域等の意見を伺い、合同学校運営協議会において協議し、最終的には教育委員会が決定すること」については、項目として「学校名の検討」です。

想定しているスケジュール・時期等については、合同学校運営協議会において、7月ま

で協議し、教育委員会において、7月か8月に学校名を決定した上で、9月の市議会には学校設置条例の改正を行いたいと考えています。

この学校名の検討については、現在、走水小学校、馬堀小学校の児童・保護者及び地域の皆さまに、学校名の候補を募集しておりまして、皆さまには応募用紙、QRコードをお配りしているところです。

申し込み期間は、5月31日までになっていますので、ご応募いただければと思います。

「②学校において検討、決定、実施すること」については、項目として「教育課程等」と「事前交流」です。

こちらについては、両校の先生方が令和7年度から統合する場合の教育課程を検討するとともに、両校の児童が不安なく令和7年度を迎えられるよう、事前の交流を図っていくもので、これも現在両校の先生方が検討していただいているところです。

続いて「③保護者と学校において調整等を行うこと」として、項目ではPTAの調整です。

スケジュール・時期等については、令和7年4月からの対応について、順次、調整を行っていただく形です。

調整事項の例としては、PTA規約、予算、行事等の調整です。

続いて「④教育委員会が検討・実施すること」については、項目として「通学の安全対策」と「閉校式等」です。

「通学の安全対策」については、スケジュール・時期等は、7月頃までに方針を決定し、令和7年4月に実施します。

現在、走水小学校区から馬堀小学校区への京急バスがありますので、その定期代の全額補助を基本とすることで考えています。

7月までには通学の安全対策の方針、全体像をお示ししたいと考えています。

閉校式等については、①の学校名の決定後、閉校式等の実施に向けて、検討・準備を行います。

2ページをご覧ください。

「⑤関係団体等と文化スポーツ観光部が調整すること」については、項目として学校開放があります。

この学校開放については、走水小学校の跡地利用の検討状況にもよるため、いつまでに何をするかといったことは未定であります。現在学校開放で利用されている団体等については、跡地利用の運用が始まるまでは、走水小学校の施設を利用できる見込みです。

最後の「⑥地域等の意見を伺い財務部やその他関係部局において検討すること」については項目として、跡地利用です。

学校の跡地利用については、検討事項が多岐にわたるため、市役所全体で検討していくべき事項であり、財務部が中心となって庁内の関係部局と連携を図りながら検討していきます。

検討の進め方については、学校が持っている既存の機能を整理し、その在り方について、地域の方々を中心にご意見を伺いながら、進めていきたいと考えています。

意見をお聞きする手法としては、地域団体の代表者などによる意見交換の場を設けさせていただくことを想定しています。

また、今後のスケジュールについては、跡地利用に向けた意見交換の場を令和6年度の夏頃から開催し、皆さまのご意見を伺いながら、時間をかけて検討させていただく予定ですが、跡地の利用として実際に開始する時期については、現時点では未定となっていますが、一般的には数年程度を要すると見込んでいます。

説明は以上です。

#### **飯田教育政策課長（事務局）**

学校名については、学校を通して保護者、児童へアンケートを配付しています。

期限は5月31日までですので、ご協力お願いします。

それでは、ご質問等がある方は、マイクをお渡しするので、挙手にてお願いします。

#### **○参加者**

学校名の変更に伴って校歌も変わると思いますが、公募なのか、このような方に作曲や作詞を依頼するなど、決まっていることがあれば教えていただければと思います。

#### **○大堀教育政策課主査（事務局）**

校歌については学校名の検討が決まってからになると思います。

今年度中ということではなく、翌年度以降、統合してから検討されるものだと思っております。

校歌の他に校章、校旗もあり、統合後に検討を進めようと考えています。

これらについては皆さまのご意見を伺いながら進めていければと思います。

#### **○参加者**

在校生から募集するというようなこともありますか。

#### **○大堀教育政策課主査（事務局）**

歌詞などについてご検討いただいても良いかと思えます。

#### **○大堀教育政策課主査（事務局）**

あまりご質問が出ないようですので、もう少し説明に補足します。

学校名については募集中であり、現在50～60件の応募があります。

5月31日まで受け付けていますので、改めてご協力をお願いします。

教育課程や事前交流については、学校長からお願いします。

#### **○塩野谷馬堀小学校長**

保護者の皆さま、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

教育課程については、両校でどのような時期にどのような内容を学ぶかということのすり合わせを行っています。

走水小学校と馬堀小学校の職員で集まって調整を行っています。

来年度統合した時に、これまで学んできたことが違っていると、これからその学年で新しく学ぶことがずれてしまいます。

そのようなことがあってはいけないので、なるべくずれがないように調整をしています。

また、事前交流については、今年度からいろいろな行事や学習について一緒にやれることを一緒にやっというとしていきます。

学習内容もそうですし、早く子どもたち同士が仲良くなって、来年度スムーズにスタートできるようにということを目的として計画しています。

ちょうど一昨日、合同の職員打ち合わせを本校で行いました。

走水小学校の職員全員に来ていただいて、学年ごとの担任同士、養護教諭同士という形で、今年度どのようなことを決めていったら良いか、来年度統合したときにどのようなことに気をつけていったら良いかということ具体的に話し合う時間もとれました。

子どもたちが不安なく、やっという一緒になれた、これから楽しみだと思えるように調整していければと思います。

馬堀小学校についてはこの校舎を使うので、形としては変わった感じがないかもしれませんが、学区が広がります。

走水小学校のすばらしい環境もこの学校の学区になるので、地域教材も増えると感じています。

そのような環境を生かした地域の学習等も充実していけるのではないかと思いますので、教員も楽しみですし、子どもたちもワクワクして来年度を迎えられるよう進めていきたいと思っています。

よろしくをお願いします。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

校長先生ありがとうございます。

資料に沿って補足をしていきたいと思っています。

P T Aについては、現在馬堀小学校のP T Aは休止中なので、馬堀小学校の保護者には代表の方に立っていただいて、両校で調整していただく形になると思います。

引き続きよろしくをお願いします。

#### ○塩野谷馬堀小学校長

この説明会を受けて、これからP T Aになるかどうか分かりませんが、統合後の保護者組織をどうしていこうかという話し合いを進めていきたいと考えています。

走水小学校からはP T A会長が話し合いに加わりますが、馬堀小学校は休止中ですので、保護者の代表としてそのような調整の会議に携わっていただける方がいればと思ひまして、改めて募集をかけたいと思います。

そういった方が手を挙げてくださればと思います、ご協力よろしくをお願いします。

#### ○大堀教育政策課主査（事務局）

よろしくをお願いします。

通学の安全確保については、現在バスが通っているということで、京急バスの定期代の全額補助を考えていますが、馬堀小学校に通うに当たって学校の始業時間にちょうど良いバスが1便しかないという状況がございます。

最低2本分は必要だと考えており、京急バスに相談しています。

運転手不足もあり、増便は難しいかもしれませんが、増便若しくは時間変更等でご検討いただくということを相談しています。

回答待ちということで、本日そのあたりをお示しできないのは申し訳ありませんが、方策が決まり次第ご報告したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

次に閉校式等についてですが、閉校式等と記載しているのは、統合に当たって学校名が変わらなければ、馬堀小学校の閉校式は行いませんし、学校名が変わるのであったとしても、この場所を使うので閉校式という名前が適切かどうかという検討も必要といった事情です。

そのような意味で、等という表現をしています。

過去の事例では、学校名が変わった事例は坂本小学校と青葉小学校を統合した時に、桜小学校に変わったという事例が、市内で唯一です。

その他の統合については、平作小学校と池上小学校で統合して池上小学校の名前が残ったというように、残った学校の学校名が存続しました。

これは、過去に池上小学校から分離して平作小学校ができて、また池上小学校に戻ったという経緯があったため、元の学校の名前が残ったという経緯です。

横須賀市における統合は、ほとんどがそのような事例です。

唯一、青葉小学校と坂本小学校が桜小学校になった事例だけが、学校名が変わったという形になっています。

その際の、閉校式等については、坂本小学校は閉校式を実施しました。

引き続きその土地を使って桜小学校とした青葉小学校は、ちょうど45周年という記念の時期だったので、45周年の記念式典に合わせて、「45周年ありがとうみんなの青葉」という名称で式典を開催し、それを閉校式として扱いました。

今回については、今後学校名を検討していき、その結果次第でどのように行っていくかが決まると思いますので、そのようにご理解いただければと思っています。

学校開放については、現状スポーツ団体などが学校の体育館や校庭等を利用している状況です。

走水小学校の閉校に伴い、これまで使っていた団体がどうするのかという問題になります。

これは、走水小学校の跡地利用が決まり、跡地が活用されるまでは、基本的にはその施設が残るので、それまでは各団体が活用できる状況になると思います。

跡地利用にもよりますが、例えば体育館が残るということであれば、跡地の活用が始まっても体育館を引き続き使えますし、グラウンドがそのまま残されるということであればグラウンドが使えます。

最後の跡地利用については、今申し上げたとおり、今後地域の皆さまの意見を伺いながら検討していくこととなりますが、小学校は避難所になっていること、投票所や健民運動会、お祭りといった地域行事に活用されているという事例もあります。

具体的に走水小学校がどのように使われていたのか伺いながら、その機能をできる限り残せるような検討をしていくということになります。

#### ○飯田教育政策課長（事務局）

改めて質問等はいかがでしょうか。

### ○参加者

走水小学校と馬堀小学校に兼務をしている英語専科の教諭です。

学校が統合するというのは、職員も保護者の方も初めての経験だと思うので、何を質問したら良いのか分からないのではないかと感じています。

他の学校に説明した時にどのような質問が出たのか教えていただければ、確かにそれも聞いておきたいと思うのではないかと感じたので、差し支えなければ教えていただければと思います。

### ○飯田教育政策課長（事務局）

この地域では走水小学校、別の田浦地域では長浦小学校と田浦小学校の統廃合があり、時期についても令和7年4月1日としています。

それぞれ説明会を4月下旬から今週にかけて行っており、この馬堀小学校が最後になります。

その中でいただいている中には、学校名が変わるのかどうかという心配があります。

また、統合する走水小学校、田浦小学校の保護者の方については、通学距離が長くなるということについてのご心配は多く質問としていただいています。

特に田浦小学校のお子さんについては、田浦地域の京急バスが減便されているといった事情から心配されています。

まだ横須賀市教育委員会として、具体的に通学支援の方法をご説明できていませんので、そういったところに関してご質問をいただいています。

### ○参加者

三年生と一年生の保護者です。

三年生は2年間通っていますので、走水小学校と統合することについてどのような思いなのか聞いたら、すごい楽しみだと言っていました。

学校の先生方から、これから一緒に学んでいくというようにご指導いただいているから、子どもたちはそのような思いになっているのだと思っています。

2月に大津行政センターで行われた説明会の際には、大人がピリピリしたムードだと思いましたが、子どもたちはすごく楽しみにしているので、この場を借りて先生方にはお礼を言いたいと思います。

市役所の方も大変だと思いますが、海の教材も増えるということで楽しみにしているので、よろしくお願いします。

### ○飯田教育政策課長（事務局）

1月11日に両校の統合を決定しましたが、そこから両校の校長先生にはご心配をおかけし、ご協力いただきながら、まずはお子様たちが心配なく、ご不安なく統合を迎えられるようにという意気込み、思いを込めて動かれています。

素早い対応をしていただき、これまでもいろいろな交流をされていたと思いますが、より一層の交流を一生懸命やっただけだと思いますので、教育委員会としても先生方にご迷惑がかからないよう、精一杯頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

このような説明会はこれが最後ではなく、学校名の決定などの節目では、状況に応じなが

ら説明会を開催します。

その際には、またご出席いただければと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、本日の説明会はこれで終了します。

ありがとうございました。